

## 府内教育関係者のアレルギー対応に係る研修等実施状況

対象		京都府教育委員会
一般教員	新任者	初任者・新規採用者研修においてオンラインエビペン研修を悉皆で実施 *各校で持っているエビペントレーナーを使い、画面の向こう側で実践してもらう形式 *コロナ前は対面形式での研修だったが、ここ数年はオンライン開催
	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏、冬にアレルギーに係る全体向けの研修会を実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>*夏… 学校における食物アレルギー対応の状況等について、「学校給食に係る衛生管理についての京都府独自調査」の結果集計等を用いて紹介。</li> <li>*冬… 「京都府学校給食研究協議大会」として、優良校の事例発表などを実施。また、R5は外部講師を迎え、学校における食物アレルギー対応についての講演を実施。</li> </ul> </li> <li>府小学校教育研究会大会において、研究校の実践発表に基づき、担当指導主事がアレルギー疾患への対応について指導助言</li> <li>府立学校保健部長会において、食物アレルギーの組織的な対応、エビペンの使用方法含む緊急時の対応、個別の取組プラン作成指導、事例の共有等を取り扱っている。</li> </ul> 以上の参加者は、自校での伝達講習等で活用している。
栄養・養護教諭	新任者	専門研修として、合同でアレルギーに関する全般的な内容の研修を毎年実施
	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健関係者向けの研修において、アレルギーをテーマにする場合がある。(毎年アレルギーを取り扱う訳ではない)</li> <li>各研究会において、アレルギー対応の事例紹介及び文科省の通知文書等の情報共有を実施</li> </ul>
学校給食関係 (栄養教諭・調理員・教育委員会)	全体	学校給食関係者を対象に、アレルギーに係る講演及びアレルギー事故の事例の共有・対応について情報共有を実施

対象		京都市教育委員会
一般教員	新任者	(給食関連) 採用1年目教員研修、新任管理者研修(管理職)においてアレルギー対応に係る項目を実施
	全体	(給食関連) 給食主任研修においてアレルギー対応に係る項目を実施  (その他) 各校の校内研修の中で安全主任や養護教諭が校内の教職員に向けて研修を実施。 学校によってはHANAモデル研修(事故発生を想定した実地訓練)で食物アレルギーによるアナフィラキシーショック発症のケースを扱うこともある。
栄養教諭	新任者	栄養教諭(採用1年目、2年目、3年目)においてアレルギーに係る項目を実施
養護教諭	新任者 常勤・非常勤講師	「救急処置と危機管理における養護教諭の役割」に関する研修を実施 *動画視聴で「アナフィラキシーショックやアナフィラキシーショックが起きた時の対応」について解説。 *併せてベテラン養護教諭から各校での実践(教職員向け校内研修や緊急体制の中でエビペンを使用するケースの対応例等)も伝える。
	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都市立小学校におけるアレルギー対応の手引、文科省ガイドラインに基づく学校管理の実際について適宜実施</li> <li>*テーマは下記のとおり 『食物アレルギーと学校生活』 『学校におけるアレルギー疾患への取組と対応について(エビペンに関する内容含む)』 『アレルギー講習会(文科省補助事業:学校における普及啓発講習会)』等</li> <li>文部科学省の「アレルギー疾患対応資料(DVD)映像資料及び研修資料」や日本学校保健会「保健管理:アレルギー疾患」から常時情報が入手できるよう周知しており、各校園で必要に応じて活用している。</li> </ul>
その他		数年に1度、外部講師によるアレルギー研修を実施 *令和3年度 栄養教諭研修会「学校での食物アレルギーへの対応」 *令和7年度 全校種の教員を対象に実施予定



- 教育現場におけるアレルギー対応の研修については、基本的には教育委員会が所管する研修等で一定充足している。
- 一方で、エビペン研修はオンラインが多く、エビペンに関する専門的な知識や実際の個別の状況への対応等については学びにくいという部分もある。
- また、教育現場においては医師から実践的な話を聞ける機会が少ないため、そういった内容の研修には需要があると言える。